

前橋市社会福祉審議会 第7回高齢者福祉専門分科会 議事録

◆ 日 時 令和2年10月29日(木) 午後1時30分～午後2時50分

◆ 場 所 前橋市第一コミュニティーセンター 2階ホール

◆ <出席者> 14人(敬称略)

委員：◎牛久保美津子 (群馬大学大学院)
長谷川亮輔 (群馬弁護士会)
佐治和喜 (前橋市医師会)
西野郁生 (前橋市歯科医師会)
塚田昌志 (前橋市社会福祉協議会)
小林建夫 (前橋市民生委員・児童委員連絡協議会)
角張桂子 (群馬県老人福祉施設協議会 中毛ブロック)
野中和英 (群馬県介護支援専門員連絡協会 前橋圏域支部)
武井謙介 (群馬県在宅福祉サービス事業者協議会)
三俣和哉 (群馬県地域密着型サービス連絡協議会)
櫻井洋一 (臨時委員)
猿山政代 (臨時委員)
高野綾菜 (学生オブザーバー)
松村朱莉 (学生オブザーバー)

<欠席者> 5人

仲道宗弘 (群馬司法書士会)
矢嶋美恵子 (群馬県看護協会)
伊藤渉 (前橋市老人クラブ連合会)
桑原英眞 (群馬県老人保健施設協会)
児島もか (学生オブザーバー)

◎=分科会長

<傍聴者> 0人

- ◆ 議事内容
- 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 議事
 - (1) 前橋市介護保険事業の特徴について
 - (2) 第8期まえばしスマイルプラン介護基盤整備方針について
 - (3) 第8期まえばしスマイルプランの構成・事業項目について
 - 4 その他
 - 5 閉会

◆ 配布資料

- 資料1** 前橋市介護保険事業の特徴について
資料2 第8期まえばしスマイルプラン介護基盤整備方針について
資料3 第8期まえばしスマイルプランの構成・事業項目について

参考資料①特別養護老人ホーム入所申込状況調査結果について

参考資料②地域ブロック別サービス利用状況等データ集計表

当日配付参考資料医療計画との整合性の確保(医療からの追加的需要分)

1 開 会

信澤長寿包括ケア課長

- ・委員16名中12名の出席により本分科会が成立していることを報告
- ・会議及び会議録が公開であることを報告
- ・委員の変更により佐治委員（前橋医師会）の就任を報告

2 あいさつ

(町田参事) 日頃から前橋市の保健福祉行政の運営に当たり、多大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。現在コロナ禍にあり、高齢者事業所にも散発的に濃厚接触者の疑いが発生し対応しているが、今のところ大事には至っていない。福祉事業所の皆様の迅速な対応と予防対策の賜物と感謝申し上げます。本日は、7期の実績分析より8期の基盤整備の方向性の検討を行う。コロナの影響を受けていることを勘案して資料を作成した。これから説明をするがその点も踏まえ議論をお願いしたい。

3 議 事

(1) 前橋市介護保険事業の特徴について

- ・資料1に基づき事務局から説明

(2) 第8期まえばしスマイルプラン介護基盤整備方針について

- ・資料2、参考資料①、②及び当日配付参考資料に基づき事務局から説明

※(1)(2)一括説明

<質疑等>

(武井委員) サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームがある一方で、在宅で暮らしたい人も必ず一定数いると思う。訪問介護の分析で説明があったが、今後を見据えて人材不足の問題について今後も一緒に考えていただきたい。

(事務局) 今年度から市民の方を対象に「介護に関する入門的研修」に取り組んでいる。午前中は座学、午後は高齢者の疑似体験を行い、興味を持っていただけるよう1日6時間で終わる研修に取り組んでいる。

(武井委員) 研修の参加者はどのくらいいるか。

(事務局) 新型コロナウイルスの影響で年6回のうち3回を開催した。1回20人の定員で参加人数は合計約60人。年齢層は40から80代までと幅広く参加していただいている。

(佐治委員) 介護の資格を持っているが、介護職に就いていない人のデータは持っているか。

(事務局) 現状把握していない。後ほど確認する。

(佐治委員) 離職率はどうか。

(事務局) 手元に資料がないが、離職率が増加していたものが昨年度と今年度は横ばいになっているという情報は把握している。

(佐治委員) 計画があっても経営的に成り立たなければ介護職に手が上らないと思う。その点も考えて計画を立てる必要があると思う。

(牛久保会長) ヘルパーに限らず他の職種でも人材不足が大きな課題となっている。ヘルパーの中でも事業所を辞めた後もヘルパーとして事業所を転々としている方もおり、離職率の計算は難しいと思う。データがあれば教えていただきたい。

※「次第4 その他」において

(事務局) 離職率について補足説明する。公益財団法人介護労働安全センターによる平成30年度介護実態調査のデータでは、介護職の離職率は15.4%、平成29年度の16.2%に比べると低下傾向。厚労省の労働経済動向調査の概要において、平成30年度の全産業における離職率の平均は14.6%で、介護職の離職率が特に高いものではない。また、離職理由について、介護職では「人間関係」が22.7%と最も多く、その他の職業では14.6%となっている。その他に、「経営理念や運営の不满」が介護職では16.5%で、その他の職業では8.2%となっており、全職種との乖離がある。

(小林委員) 入門的研修のような講座を受けた人がどのくらい介護職に就いたか実績を教えてください。

(事務局) 訪問型サービスA従事者養成研修について過去3年に遡って就労状況を確認したところ、介護事業所に就いている人が5人。ただ、回答率は100%ではない。入門的研修については、単独で開催したのは今回で初めてのため、参加した方が介護分野に興味を持っていただけるように取り組みたい。

(小林委員) 多くの市民に関心を持ってもらうのが大事。ぜひ周知に力を入れて欲しい。

(牛久保会長) 本日ご提示した第8期基盤整備計画について、ご承認いただけるか。

(委員一同) 了承。

(3) 第8期まえばしスマイルプランの構成・事業項目について

・資料3に基づき事務局から説明

<質疑等>

(松村オブザーバー)「第5章 目標Ⅱ 3) 災害や感染症対策に係る体制整備」の感染症の部分はどのような内容が盛り込まれるか。

(事務局) 今回のコロナ禍では、既存の前橋市新型インフルエンザ等行動計画、業務継続計画に基づき対応した。初めて災害と感染症について記載することになるので、今回の経験で出てきた課題を記載し認識することが大切だと思う。例えば、正しい知識の普及啓発等により感染予防を行いながら人との関わりを保ち孤立を防ぐこと、介護に関わる専門職に正しい知識を持ってもらうこと、必要な介護サービスを継続するための支援など。これらの課題への取組を検討し、高齢者やその家族の不安軽減を目指したい。その他、実際に高齢者などと接する活動では、消毒や飛沫防止、オンラインによる活動等、感染予防対策を徹底する旨を記載したい。

(櫻井委員) スマイルプランは介護保険に限らず高齢者の幸せを目的とした計画か。

(事務局) 介護保険はもちろん、老人福祉計画も含んだ高齢者のための計画である。

(櫻井委員) 資料1によると、前橋市では高齢者で認定を受けていない人が8割程いる。この人たちにもっと目を向けるべきではないか。認定者が増えると社会的負担も家族の負担も増え、本人も悲しい。「第5章 目標Ⅲ 介護予防と健康づくりの推進」を大目標として最初に記載してはどうか。その中でも「3) 高齢者の健康づくり」により健康寿命を延ばすことが最も大事だと思う。

(牛久保会長) 目標の配列順についてのご指摘だが、全ての目標が重要であって目標Ⅰが最も重要という意味ではないと思う。事務局から説明をお願いしたい。

(事務局) 施策の対象者の範囲が最も広いと思われるところから、介護保険の対象者へと狭めていくという配列順になっている。多くの住民が関わる取組を推進するという考えで配列した。ご理解いただきたい。

(佐治委員) 櫻井委員の意見に賛同する。スマイルプランは単なる介護保険のプランでは無いと思う。

(牛久保会長) 事務局でご検討いただきたい。

4 その他

<次回の開催について>

(事務局) 次回第8回分科会は、令和2年11月26日(木)13時30分から市役所11階南会議室で開催予定。第8期スマイルプランの概要版の提示、並びに概要版のパブリックコメント実施に向けた報告などを行う。

5 閉会